

## 令和8年度第1回 こち亀記念館地域協議会 議事録

日 時：令和8年6月17日（水）午後6時30分～午後7時45分

会 場：亀有地区センター ホール

出席委員：赤松委員、浅沼委員、小河原委員、加藤委員、小口委員、小室委員(オブザーバー)、佐藤（修）委員、佐藤（尚）委員、佐野委員、鳥山（太）委員、鳥山（郁）委員、中田委員、長谷部委員、花島委員、羽根田委員、福岡委員、松原委員、吉田委員（五十音順）出席17名、欠席16名

事務局：宅間産業観光部長、矢内観光課長、泉谷商工振興課長、阿部商業振興係長、中村観光担当係長、佐藤、小林

運営事業者：アクティオ（株）戸村様、本橋様、比護様

議 題：○報告事項

（1）令和7年度の事業実績等について

（2）令和8年度の事業予定について

○協議事項

（1）皆様の思う亀有の特色について

<配布資料>

【資料1】令和7年度運営実績

【資料1-2】デジタルdeスタンプラリー及びかめありハレの日 運営実績

【資料2】令和8年度イベント内容

【資料2-2】令和8年度 葛飾区事業内容

【資料3】皆様の思う亀有の特色について

【資料4】今後の予定

ご意見シート

### 1. 開会

### 2. 挨拶

初出席者が自己紹介を行った。

### 3. 議題

<報告事項>

事務局及び運営事業者より、（1）令和7年度の運営実績等について、（2）令和8年度の事業予定についての説明を行った。

## 質疑要旨

- ・香取神社の例大祭において展示を予定している行灯絵について、かめありハレの日秋まつりと連携し、より多くの方に見ていただけるような企画ができないか。  
⇒（事務局回答）今年度のかめありハレの日秋まつりについても、移動派出所の出展を軸に宮前通りでの企画を検討している。今後、関係者の皆様と調整しながら、具体的に何ができるか検討していきたい。

## <協議事項>

### （１）亀有の特色について

事務局より（１）皆様の思う亀有の特色について説明した後、委員が考える「亀有の特色」について意見を求めた。

## 意見要旨

- ・亀有には、商店街や祭り、歴史などの様々な特色がある。小学校で行われる「地域を学ぶ授業」と連携し、特色を活用した亀有の郷土かるたを作成することで、子どもたちと一緒に亀有の魅力を発見していくのはどうか。また、商店街の商品開発について、地元高校生と連携し、グッズや食べ物を一緒に考える取組も有効ではないか。
- ・亀有は人が優しく、地域の方々が様々な活動を行っていることが魅力である。特別な歴史だけでなく、身近な地域活動や商店街、町会の取組をより多くの方に知ってもらうことが重要ではないか。
- ・亀有には、かつて大きな会社があり、駅前には赤い太鼓橋や柳があった。こうした古い街並みや歴史を掘り起こし、観光資源やイベントの素材として活用してはどうか。
- ・高齢者を主役としたファッションショーなど、世代を超えて家族で楽しめる企画を検討してはどうか。  
⇒（事務局回答）高齢者に目を向けたイベントは新しい視点だと思う。今後イベントを企画する中で検討していく。
- ・亀有は、各町会の盆踊りや夏祭りなど、地域ごとのイベント活動が活発であることが特色である。
- ・台湾からの来館者が多いことを踏まえ、スマートフォンを活用したバーチャル技術や、漫画の舞台となった場所を巡る企画など、デジタルを活用した回遊施策を検討してはどうか。  
⇒（事務局回答）亀有の特色について、身近な地域活動や日常の中にある魅力、高齢者を含む多様な世代への着目など、多くの意見をいただいた。事務局としても、今後の事業検討に当たり参考とし、次回以降の会議で引き続き皆様と検討していきたい。

#### 4. 総評（オブザーバー）

全体として取組は順調であり、20～30代の来館者に興味を持ってもらえている点、デジタルラリーやインフルエンサー、バーチャル技術を活用している点は、今後も進めていくべきである。また、町会と商店街の連携、高齢者を対象とした企画の可能性、連載50周年を契機とした開館2年日以降の展開、区内のほか地域との連携や観光バス駐車場整備を契機とした新たな可能性についても期待できると考える。

#### 5. 今後の予定

事務局より、こち亀記念館の運営体制について及び次回開催予定（10月中旬頃）についての説明。

#### 6. 閉会